

本県の経済活動の状況

～令和4年度静岡県県民経済計算及び地域経済計算から～

企画部 統計活用課

はじめに

県民経済計算は、県民の経済活動によって1年間に生み出された成果（付加価値）を、生産・分配・支出の三面から総合的かつ体系的にとらえたものです。

本県の経済規模、構造、成長率や県民の所得などを明らかにするだけでなく、①経済力、②経済的な豊かさ、③産業構造を示す指標としても利用されています。

また、地域経済計算は、県民経済計算で推計した県全体の県内総生産を、様々な統計等を基に分割し、県内4地域及び各市町別の経済状況を明らかにしたものです。

今回の特集では、最新値である令和4年度の推計結果から本県の経済活動の状況を理解いただき、様々な事業や施策に御活用いただければ幸いです。

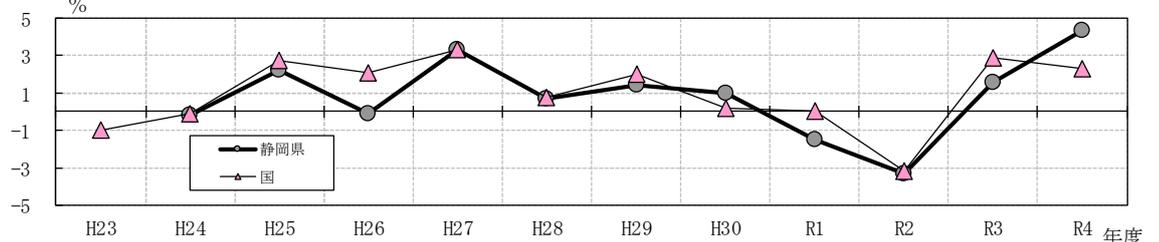
1 県全体の経済活動の状況

県民経済計算の推計結果である県内総生産、経済成長率、県民所得及び一人当たり県民所得から、令和4年度の状況を明らかにする。

(1) 令和4年度の概況

経済成長率は、名目+4.4%、実質+3.3%と、ともに2年連続のプラス成長となった。なお、国の成長率（名目+2.3%、実質+1.4%）と比較すると、名目、実質ともに国を上回った。

図表1 名目経済成長率の推移

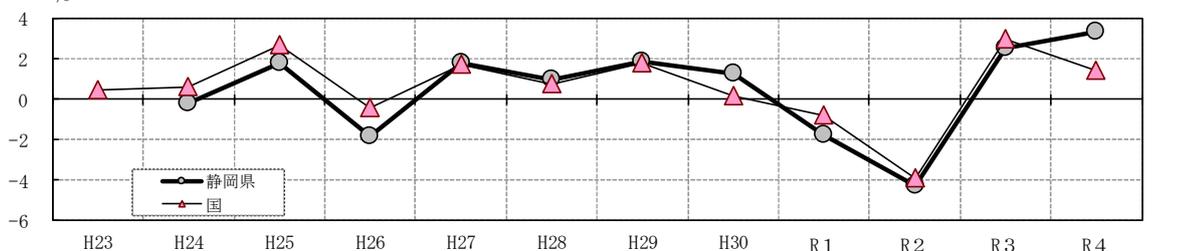


名目経済成長率の推移

区分	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	R 4
静岡県	-	▲ 0.2	2.2	▲ 0.1	3.3	0.7	1.4	1.0	▲ 1.5	▲ 3.3	1.6	4.4
国	▲ 1.0	▲ 0.1	2.7	2.1	3.3	0.8	2.0	0.2	0.0	▲ 3.2	2.9	2.3

国値：内閣府経済社会総合研究所『2023年度(令和5年度)国民経済計算年次推計』

図表2 実質経済成長率(連鎖)の推移



実質(連鎖)経済成長率の推移

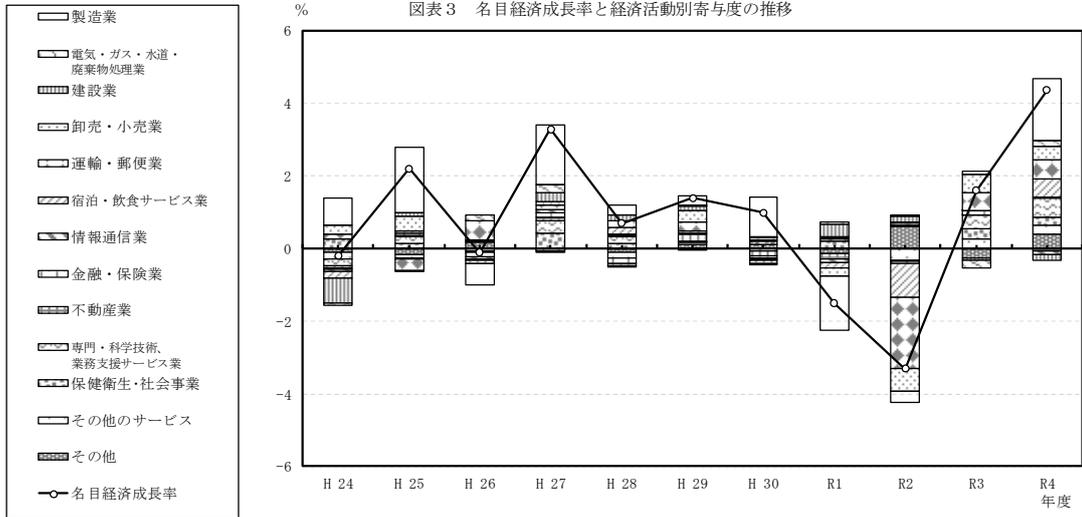
項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
静岡県	-	▲0.2	1.8	▲1.8	1.8	1.0	1.9	1.3	▲1.7	▲4.2	2.5	3.3
国	0.5	0.6	2.7	▲0.4	1.7	0.8	1.8	0.2	▲0.8	▲3.9	3.0	1.4

国値：内閣府経済社会総合研究所『2023年度(令和5年度)国民経済計算年次推計』

(2) 名目経済成長率に対する寄与度

名目経済成長率+4.4%に対する経済活動別寄与度の最も大きかったのは、製造業の+1.7%で、逆に、最も小さかったのは、建設業の▲0.2%であった。

製造業の中では、輸送用機械、食料品及び化学が好調であった。



名目経済成長率と経済活動別寄与度の推移

単位：%

項目	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R1	R2	R3	R4
製造業	0.7	1.8	▲0.6	1.6	0.3	0.3	1.1	▲1.5	▲0.3	0.1	1.7
電気・ガス・水道・ 廃棄物処理業	▲0.1	▲0.0	0.1	0.2	▲0.0	0.0	▲0.0	0.1	0.0	▲0.2	0.2
建設業	▲0.7	0.1	0.0	0.3	0.2	0.1	0.0	0.3	0.2	▲0.1	▲0.2
卸売・小売業	0.2	0.4	▲0.1	0.1	▲0.1	0.3	▲0.1	▲0.2	▲0.6	0.5	0.4
運輸・郵便業	0.1	▲0.3	0.5	0.1	0.2	0.3	0.1	0.0	▲2.0	0.5	0.5
宿泊・飲食サービス業	▲0.2	0.1	▲0.0	▲0.0	0.2	0.1	▲0.0	▲0.1	▲0.9	0.0	0.5
情報通信業	▲0.1	▲0.0	▲0.1	0.1	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.1	0.0	0.0	▲0.1
金融・保険業	▲0.1	0.1	▲0.1	0.1	▲0.2	0.0	▲0.1	0.0	▲0.1	0.1	0.0
不動産業	▲0.1	0.0	▲0.0	0.1	0.0	0.2	▲0.1	▲0.1	▲0.0	0.0	▲0.1
専門・科学技術・ 業務支援サービス業	▲0.2	0.2	0.0	0.4	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.4	0.5
保健衛生・社会事業	0.3	0.2	0.0	0.4	0.2	0.0	0.1	0.2	0.0	0.3	0.2
その他のサービス	▲0.2	▲0.1	▲0.1	▲0.0	▲0.1	0.1	▲0.1	▲0.0	▲0.3	0.3	0.3
その他	▲0.1	▲0.2	0.2	▲0.0	▲0.1	0.1	0.1	▲0.1	0.6	▲0.3	0.4
名目経済成長率	▲0.2	2.2	▲0.1	3.3	0.7	1.4	1.0	▲1.5	▲3.3	1.6	4.4

(3) 県民経済計算の主要指標(県内総生産、県民所得、一人当たり県民所得)の状況

令和4年度の県内総生産(名目)は18兆2,711億円、県民所得は12兆4,577億円、一人当たり県民所得は347万8千円である。

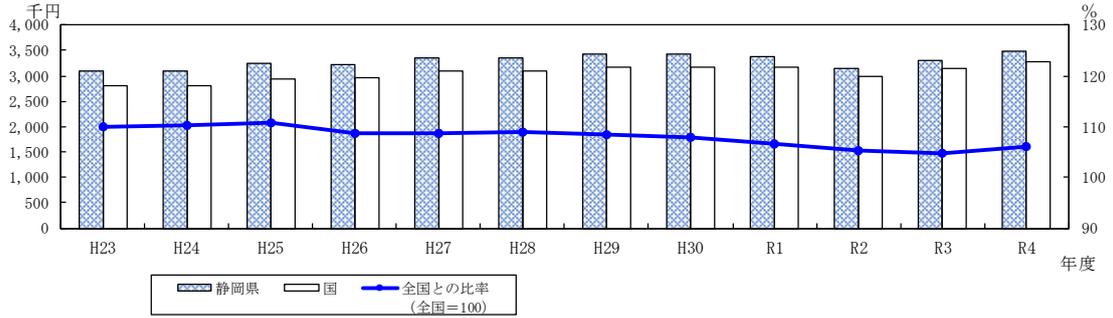
県内総生産の額は平成23年度から連続して全国10位となっており、また国内総生産の約3.2%を占めている。

また、一人当たり県民所得は全国4位となった。一人当たり国民所得の327万8千円と比較すると、金額で20万円、率で6.1%上回っている。

なお、東京都は日本の上場企業の本社が集中していることに加え、様々な産業分野が集中している地域であるため、都内総生産等の値は他の道府県と比較し、群を抜いて高くなっている。

注意：一人当たり県民所得とは、県民所得を県の総人口で割ったもので、企業の所得等も含んだ県民経済全体の水準を表す指標であり、県民個人の給与や実収入等を表すものではないことに注意が必要である。

図表4 一人当たり県民所得と国民所得（要素費用表示）の比較



一人当たり県民所得と国民所得（要素費用表示）の比較

単位：千円

項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
静岡県	3,080	3,097	3,237	3,218	3,359	3,363	3,423	3,434	3,390	3,139	3,303	3,478
国	2,798	2,808	2,925	2,961	3,089	3,089	3,157	3,181	3,181	2,980	3,150	3,278
全国との比率 (全国=100)	110.1	110.3	110.7	108.7	108.7	108.9	108.4	107.9	106.6	105.3	104.9	106.1

国値：内閣府経済社会総合研究所『2023年度(令和5年度)国民経済計算年次推計』

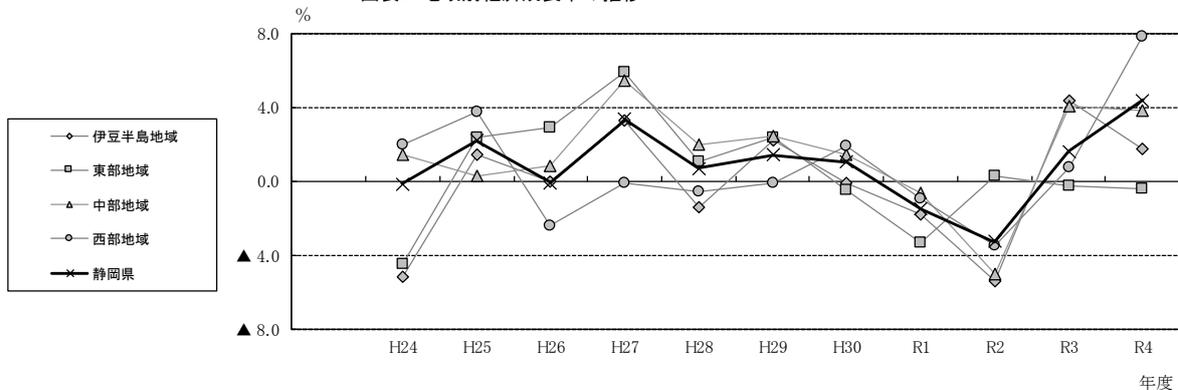
2 地域別の経済活動の状況

次に、県総合計画の地域区分である4地域（伊豆半島、東部、中部、西部）に区分し、令和4年度の状況について説明する。

(1) 地域別経済成長率

令和4年度の地域別経済成長率は、西部地域が+7.8%と最高。東部地域を除く3地域でプラス成長であった。

図表5 地域別経済成長率の推移



地域別経済成長率

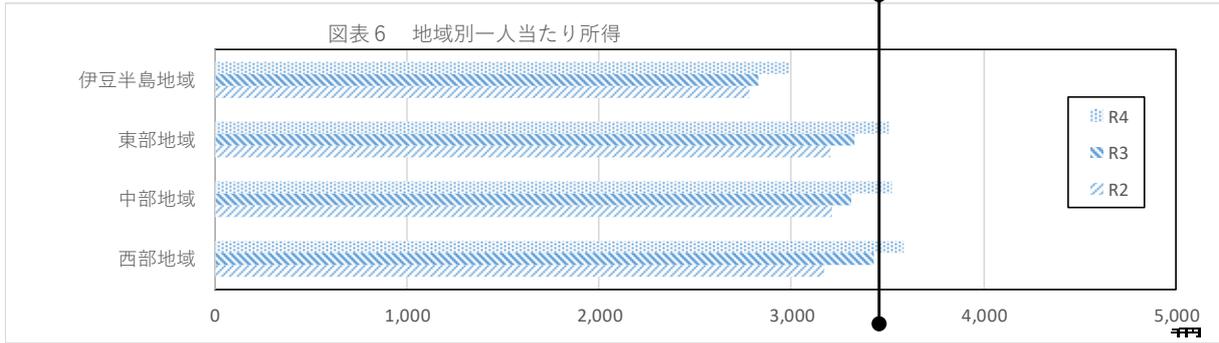
単位：%
H23-R4平均

項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	H23-R4平均
伊豆半島地域	-	▲ 5.2	1.4	▲ 0.0	3.3	▲ 1.4	2.2	▲ 0.1	▲ 1.8	▲ 5.4	4.4	1.8	▲ 0.1
東部地域	-	▲ 4.5	2.4	2.9	5.9	1.1	2.3	▲ 0.5	▲ 3.3	0.3	▲ 0.3	▲ 0.4	0.5
中部地域	-	1.4	0.3	0.8	5.4	2.0	2.4	1.5	▲ 0.7	▲ 5.0	4.0	3.8	1.4
西部地域	-	2.0	3.7	▲ 2.4	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.1	1.9	▲ 1.0	▲ 3.5	0.7	7.8	0.7
静岡県	-	▲ 0.2	2.2	▲ 0.1	3.3	0.7	1.4	1.0	▲ 1.5	▲ 3.3	1.6	4.4	0.8

(2) 地域別一人当たり所得

西部地域が358万3千円と最も高く、東部地域、中部地域及び西部地域が、一人当たり県民所得347万8千円を上回った。

1人当たり県民所得 3,478 千円

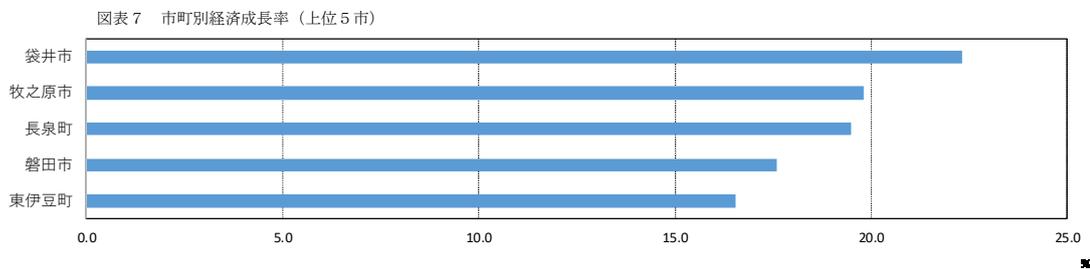


3 市町別の経済活動の状況

続いて、市町別の令和4年度の状況について説明する。

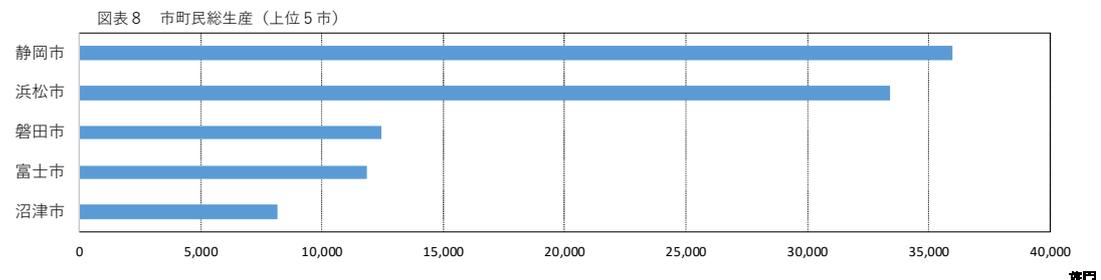
(1) 市町別経済成長率

袋井市が+22.3%で最高。26市町がプラス成長。



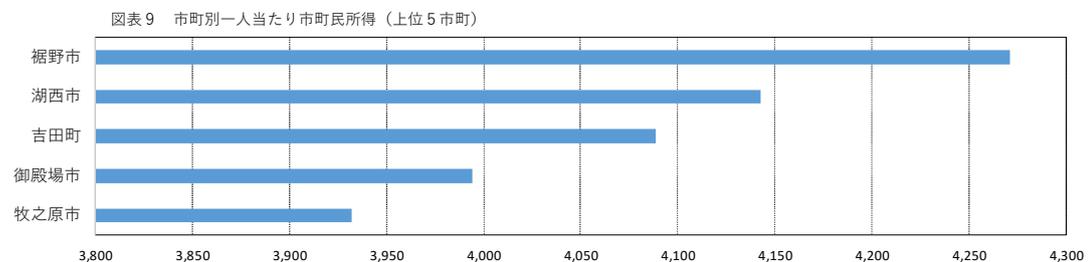
(2) 市町内総生産

静岡市が3兆5,996億円で最大。上位5市で県内総生産の約56%を占める。



(3) 一人当たり市町民所得

裾野市が427万1千円で最高。13市町が一人当たり県民所得を上回った。



むすびに

静岡県県民経済計算及び地域経済計算の詳細なデータについては、静岡県統計情報サイト「統計センターしずおか」(URL <https://toukei.pref.shizuoka.jp/>) で入手することができますので、ぜひ御覧ください。